

ナショナルチームのユニフォームとナショナリズムの関係
The relation between national team's uniforms and nationalism

1 K08B504-3 登柳龍太郎
指導教員 主査 寒川恒夫 先生 副査 石井昌幸 先生

【目的】

今日のスポーツ国際大会では、そこに出場するナショナルチームの選手や彼らを応援する観衆（国民）が国旗を振りかざしたり国歌を歌ったりする場面をよく見かける。観客席を見てみると、そこには選手と同じユニフォームを着た観衆がいるのであるが、彼らはそれらの応援行為を行うことで「国民のひとり」であるという自覚を持つのだろうか、ユニフォームを着用することに対しては果たしてどうなのだろうか。本論文を制作する目的はそのような疑問から、ナショナルチームのユニフォームとナショナリズムがどのような関係を持っているのかを紐解くことにある。

【はじめに】

本論文で取り扱う対象を絞る。ひとつ目は、各種スポーツの国際大会などに出場するナショナルチームのユニフォーム（衣装）が選手や国民・民族（観衆）にもたらす効果について、ふたつ目に、ユニフォーム（衣装）そのものが人間や社会集団にもたらす効果について、みつつ目に、各種スポーツの国際大会やそもそもそのナショナリズムの起源や発展についてである。対象を縛りこんだら主題に対する仮説を立てる。本論文での仮説は「ナショナルチームのユニフォームが選手や選手団の団結力、観衆のナショナリズムの高揚に与える影響力は国歌や国旗並みに大きく、それに加えて、ユニフォームには以上のようなまとまったコミュニティに効率的に影響を与える法則性が存在するのである。」である。

【第1章 概念や単語の確認】

4つの概念を確認するのであるが、そのひとつがユニフォームについて 以下、衣装について、ナショナルチームについて、そしてナショナリズムについてである。ユニフォームには制服やスポーツ用の揃いの服といった意味がある。ナショナルチームとは国や民族、地域単位で編成され、オリンピックや各種国際大会に派遣されるチームのことである。

【第2章 それぞれの概念の役割】

第1章で確認した各単語や概念が実際にスポーツにおいてどのような働きをしているのかについて考察する。ユニフォームは敵味方を判別するなどの記号的役割、非日常的な衣装としての役割がある。ナショナリズムの役割は、ナショナリズムがスポーツに何かしらの影響を与えるのではなく、スポーツの持つ競争や身体鍛錬などの特徴がナショナリズムに役立つのである。

【第3章 ユニフォームとナショナリズム】

ユニフォームには選手と観衆を結びつける働きを

し、敵ないしは相手と競争するというスポーツの特性にさらされること、加えて非日常的な観衆のスポーツ観戦行動（応援に伴う大声での声援やボディアクション）によって彼らのナショナリズムが刺激され、選手と観衆の一体感を生み出し、われわれ意識を増幅させるのである。つまり、ユニフォームとスポーツのナショナリズムは、スポーツという非日常的な体験の上で、観衆が最真にするチームのユニフォームを着用することで観衆のナショナリズムが刺激され、それに伴い選手のそれが刺激されるという関係なのである。

【第4章 仮説の真偽判定・結論】

はじめに立てた仮説の真偽は、限りなく真であるがその根拠は疑わしいことが分かった。これまでの論述をもとにその疑念の根拠を挙げる。ひとつ目に、そもそもナショナルチームのユニフォームに限定されているのではなく、ユニフォーム自体がナショナリズム高揚に大きな影響力を持っているという答えが導き出されるという点。ふたつ目に、ナショナルチームのユニフォームが国歌や国旗ほどのナショナリズム高揚への影響力を持つとは言い難い点。その2点である。そこから導く結論は以下の通りである。

「スポーツにおけるユニフォームは選手や観衆の非日常的な一体感を湧き出させる一種の装置であり、スポーツにおけるナショナリズム的な動きを発生させる一因にもなり得る。そのユニフォームはナショナルチームであろうとクラブチームであろうと地域の少年野球団であろうと、競技を行う選手と応援する観衆が同じユニフォームを着用するだけで、彼らにわれわれ意識を発現させ、ウチとソトを区別しようとする結果ナショナリズムの思想・運動が発現するのである。」

スポーツにおけるユニフォーム着用のルールがなくならない限り、スポーツとナショナリズムは今後も密接に関わっていくだろう。